

● クラブフォーラム②

規則委員会 委員長 佐野良雄

クラブ定款・細則などについて、改正案を作成し理事会に上程したいと思います。

*国際ロータリーの規定審議会が4月に開催され、標準クラブ定款について何項目かの改定が行われ、これに基づいて、クラブの定款・細則が抵触していないかを確認して改正案を作成する。ロータリー活動の指針として身近に役立てるよう、条文全体を精査し文脈の適確性、過不足、文体・体裁の分かり易さなどについて検討し、改正案を作成する。



会場監督 砂沢学賦

(基本方針)
・緊張感と思い遣りを持ち、楽しい例会設営を行う。
・事前準備をしっかりと行う。(事務局、ニコニコ、出席、プログラム、IT委員会との連携)
(例会設営)
・出向者報告と、同好会の報告を毎例会2から3名ずつ行います。
・本年度同様、委員会の中で各例会担当を定めます。



● クラブフォーラム① ※先週末掲載分

出席委員会 委員長 荻野梓

リアルでもオンラインでも気持ちよくご参加いただけるような雰囲気醸成し、また、メイクアップを推奨し、もって出席率アップを図ります。



出向者連絡会 委員長 仲川聡

本年度は、地区出向者が12名おります。出向者はクラブと地区において活躍されており、そのアグレッシブな情報の共有と発信が重要です。地区での活動内容の案内等クラブ会報や例会で告知していきたいと思います。



TOPICS

気温が体温並の熱さの中、7月21日例会終了後の14:00より川口駅東口コンコースにて、ウクライナ支援のための募金活動を行いました。募金活動には会員だけでなく、ローターアクトの皆さんや森絹子会員のバレエの生徒さんも参加して下さいました。地区より社会奉仕部門委員長の平田利雄様、委員長の横田松博様、11グループガバナー補佐の伊藤高太郎様もかけつけて下さり、特に社会奉仕委員長の横田様は、ウクライナ国旗のフラッグや募金箱等を持ってきて下さいました。また中里公造パストガバナーや奥ノ木信夫川口市長もお立ち寄り下さいました。募金額は329,219円集まりました。募金当日の写真はまた今後の週報に掲載します。



●事務局
〒332-0012
川口市本町1-18-5 NTTビル1F
TEL 048-222-0124
FAX 048-222-0118
http://www.kawaguchi-rc.com
E-mail krc2770@plum.plala.or.jp

次回予定

8月4日 定例会
会 場／銀座アスター
点 鐘／12:30～

国際奉仕委員会原田敬美委員長
・ヒューストン国際大会報告
・中壢RCと中継

次々回予定 ※11日は祝日の為休会です

8月18日 定例会
会 場／銀座アスター
点 鐘／12:30～

こどもの居場所づくりinかわぐち 添田大智様
「フードドライブ活動」

2022-2023 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

週報

題字：江連 俊裕

No.03

●定例会
第3022回
2022年7月28日配布



Rotary

国際ロータリー第2770地区
第11グループ

2022-23年度
会長：白井 靖 幹事：中村 大祐



あいさつ

会長 白井 靖

まずは、例会場のフードドライブの箱を例会場に設置しております。子供食堂に寄付させていただきますので、皆様のご協力よろしくお願いします。また、本日、募金活動おこなわせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

会長挨拶ですが、川口ロータリークラブは、今年度は110名の会員を目標としています。会員増強を進めていくうえで、「ロータリークラブとは何か」をあらためて会員の皆様に認識していただき、皆様の入会勧誘に役立てていただければと思います。

今年度はRIのホームページを参考に、会長挨拶と一緒に学んでいきたいと思います。本日は、ロータリークラブ・ローターアクトクラブ・インターアクトクラブ・Eクラブ・クラブ入会のメリットについてお話しいたします。

ロータリーの中核を成すのは、奉仕と友情を大切にする会員です。ロータリーの会員は、クラブで仲間との友情を育みながら、アイデアを出し合い、地域の人々とともに草の根の活動をしています。

ロータリークラブは、ロータリークラブの規模や特徴はさまざま。すべてのクラブは同じ基本理念と価値観をにかけていますが、それぞれ個性があり、地元独自のニーズに基づいた活動をおこなっています。

ローターアクトクラブは、ローターアクトクラブでは、18歳以上の若い人たちが世界中の地域社会で活動しており、奉仕活動を実施し、リーダーシップのスキルを高めながら交流しています。

インターアクトクラブは、地域社会や学校を基盤とするインターアクトクラブでは、12～18歳の中学・高校生が、ボランティアやその他の活動への参加を通じて社会について学び、リーダーシップの力を養っています。

Eクラブは、クラブによっては例会のすべて、または一部をオンラインで実施する場合があります。これは、忙しいスケジュールの会員、移動が難しい会員、またはロータリークラブがない地域に住む会員のニーズを満たすものです。これらのオンラインによるクラブは、時には「Eクラブ」と呼ばれ、定期的に例会を開きます。また、ほかのロータリークラブと同じように奉仕プロジェクトを実施し、ロータリー財団を支援し、会員同士の親睦を楽しみますが、通常のクラブよりも会費が低額になるというメリットがあります。

クラブ入会のメリット

クラブでは、プロジェクトの管理や、人前でのプレゼンテーションを行うためのスキルを磨いたり、ほかで会うことのできないような人々と出会うことがあります。地域社会の問題や世界がかかえる課題を解決するために、異業種の仲間と一緒にプロジェクトの取り組みめるのも、ロータリークラブならではの魅力です。今回のウクライナ募金活動ひとつとっても、一企業、個人ではなかなか現実的にできないことがロータリークラブならすぐに可能な活動になります。